

令和8年度 三浦半島地域広域幹線道路整備促進期成同盟
要望活動 議事録

1 日 時 令和8年8月19日（水） 11:30～12:15

2 場 所 横須賀市役所1号館3階会議室A

3 要 望 者 三浦半島地域広域幹線道路整備促進期成同盟

会 長 横須賀市長 上地 克明

副会長 鎌倉市長 松尾 崇

副会長 逗子市長 桐ヶ谷 覚

副会長 三浦市長 出口 嘉一

副会長 葉山町長 山梨 崇仁

4 対 応 者

国土交通省 関東地方整備局横浜国道事務所長 西村 徹 様

神奈川県 横須賀三浦地域県政総合センター所長 川上 亮 様

神奈川県 県土整備局技監兼道路部長 星名 隆 様

神奈川県 横須賀土木事務所長 五十嵐 敬 様

神奈川県 県土整備局道路部道路企画課長 石川 謙作 様

神奈川県 県土整備局道路部道路管理課長 福原 浩之 様

神奈川県 県土整備局道路部道路整備課長 井川 崇 様

神奈川県道路公社 理事長 佐川 範久 様

東日本高速道路株式会社関東支社 建設事業部長 川口 真史 様

東日本高速道路株式会社関東支社 京浜管理事務所長 大原 暢元 様

東日本高速道路株式会社関東支社 横浜工事事務所長 山口 亮太 様

5 事 務 局

横須賀市 建設部長 藤田 順一

横須賀市 建設部企画担当課長 金子 真二

6 議事

【横須賀市建設部長】 それでは、始めさせていただきます。ただいまから、三浦半島地域広域幹線道路整備促進期成同盟の要望活動を始めさせていただきます。

私は本日進行を務めさせていただきます、本期成同盟幹事長の横須賀市建設部長の藤田です。どうぞよろしくお願いいたします。

はじめに、本日ご参加いただいている皆様を、改めてご紹介いたします。まず、本期成同盟の役員です。会長の上地克明 横須賀市長です。

【横須賀市長】 よろしく願いいたします。

【横須賀市建設部長】 副会長の松尾崇 鎌倉市長です。

【鎌倉市長】 よろしく願いいたします。

【横須賀市建設部長】 副会長の桐ヶ谷覚 逗子市長です。

【逗子市長】 よろしく願いいたします。

【横須賀市建設部長】 副会長の出口嘉一 三浦市長です。

【三浦市長】 よろしく願いいたします。

【横須賀市建設部長】 副会長の山梨崇仁 葉山町長です。

【葉山町長】 よろしく願いいたします。

【横須賀市建設部長】 続きまして、要望先の皆様です。前列の方のみご紹介させていただきます。

国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所長 西村徹 様。

【国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所長】 よろしく願いいたします。

【横須賀市建設部長】 神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター所長 川上亮 様。

【神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター所長】 よろしく願いいたします。

【横須賀市建設部長】 神奈川県県土整備局技監兼道路部長 星名隆 様。

【神奈川県県土整備局道路部長】 よろしく願いいたします。

【横須賀市建設部長】 神奈川県道路公社理事長 佐川範久 様。

【神奈川県道路公社理事長】 よろしく願いいたします。

【横須賀市建設部長】 東日本高速道路株式会社関東支社建設事業部長 川口真史 様。

【東日本高速道路株式会社関東支社建設事業部長】 よろしく願いいたします。

【横須賀市建設部長】 以上です。それでは、要望活動に移ります。まず要望書の手交並びに集合写真の撮影を行います。事務局がご案内いたしますので、前の風神雷神が描かれている壁側にお集まりください。

***** 写真撮影 *****

【横須賀市建設部長】 それでは、お手元の要望書をご覧ください。

まず、本期成同盟役員から、皆様に要望させていただきます。その後、要望先の皆様から関連する事項について、ご所見をいただきます。なお、時間が限られていますので、要望書前文のご説明は割愛させていただき、要望書見開き右側に記載しています、要望事項の6項目のうち、各市町がそれぞれの立場から補足説明させていただきます。それでは、着座のまま、上地横須賀市長からお願います。

【横須賀市長】 横須賀市長の上地です。

先程、東日本高速道路株式会社横浜工事事務所の山口所長から「横浜環状南線の概要」についてご講演いただきました。本当にありがとうございました。併せまして、総会にご列席いただきました、国土交通省、神奈川県、神奈川県道路公社の皆様におかれましても、日頃から幹線道路整備の促進に多大なるお力添えを賜り、厚く改めまして御礼申し上げます。ありがとうございます。

さて、総会でも少し触れましたが、自然災害への備えとして、道路のダブルネットワーク構築は、極めて重要です。このことは、令和6年能登半島地震の事例からも、半島地域には、特に共通する課題として、私たちは認識しています。

このような背景もありますので、要望事項は、例年に引き続きのものが中心ですが、その実現に向けての私どもの思いは、これまで以上に熱気を帯びていることを申し添えさせていただきます。

それでは、横須賀市からは、要望事項1と4と5について、述べさせていただきます。

まず、要望事項1です。総会でも申しあげましたが、高速横浜環状南線、横浜湘南道路は、圏央道として、県内東西方向の交通渋滞の緩和や、三浦半島地域における企業立地の促進、物流の効率化、新たな観光需要の創出など、確実に地域経済に好循環をもたらし、地元商工業を元気にするとともに、災害時の代替路の観点からも非常に重要な道路であります。

令和3年に就航した、東京九州フェリーは、右肩上がりで利用が増加しており、横須賀港は本格的な物流拠点になりつつあります。今後も、ドライバー不足や、環境負荷軽減などの課題を解消するため、モーダルシフトの広がりによる、物流環境の向上から、横須賀港の利用増加が見込まれています。また、このような情勢も背景に、横須賀港では、新たなふ頭の整備も検討を進めています。

また、京浜急行電鉄の浦賀駅周辺では、浦賀の地域資源を活かしたマリーナや交流広場の整備など、浦賀駅前周辺地区活性化事業を進めており、今年3月に関係者間連携協定を締結するなど、第二の開国として、三浦半島の新たな観光・産業などの賑わいの拠点を創出することによる、持続的な地域活性化の取組を進めています。

こうした、横須賀港や浦賀地区へのアクセス道路でもあり、三浦半島の背骨でもある横浜横須賀道路に、圏央道が接続することは、半島に新たな玄関口ができることであり、物流と人流とを、飛躍的に増加させるものと、大いに期待しています。

三浦半島地域の多くの人や事業者は、一刻も早い接続を、これでもか、これでもかと首を長くして、待ち望んでいます。様々な制約があることも十分に承知していますが、是非とも速やかな早期開通を、よろしくお願い申し上げます。

次に、要望事項4です。国道 357 号は、交差点改良工事、水路の付替え工事のほか、いよいよ、本体道路工事にに向けた詳細設計に力を入れて進めていただくなど、ご尽力を頂いていますことに、まずはお礼を申し上げます。

併せて、追浜駅前のバスタ事業においても、完成までのスケジュールが具体化し、現在は用地取得に向けた調査などを進めています。これらを含めた追浜駅周辺事業の着実な進展は、横須賀の拠点の一つである追浜地区の、ひいては、横須賀市全体の、経済の活性化に欠かせない社会基盤となるものと期待しています。

つきましては、国道 357 号の都市計画決定区間の早期整備、及び南下延伸区間の早期具体化に向けて、進めていただくようお願い申し上げます。

最後に要望事項5です。現在、横浜横須賀道路の、横須賀パーキングエリア周辺におけるスマートインターチェンジ整備については、横浜横須賀道路へのアクセスが強化され、災害時における道路ネットワークの形成にも寄与するものと確信をしています。関係機関の皆様のご支援により、東日本高速道路株式会社と共同で事業を推進させていただいています。こちらでも早期の整備に向けて引き続き、ご支援を賜りたくお願い申し上げます。

それぞれのプロジェクトの一刻も早い整備に向け、当然ながら、地元の自治体としても知恵を出し、汗をかき、全力で取り組んでまいる所存です。

今後とも、関係機関の皆様には、より一層のご支援とご協力を、どうぞ、よろしくお願い申し上げます。私からは以上です。

【横須賀市建設部長】 ありがとうございます。続きまして、松尾鎌倉市長お願いします。

【鎌倉市長】 鎌倉市長の松尾です。

日頃から幹線道路の整備にご尽力頂いていますことを、この場を借りまして、心より感謝申し上げます。

鎌倉市からは、1 番及び6 番について、お願い申し上げます。

まず、1 番の要望につきましては、鎌倉は、観光施設が集積する鎌倉地域内においては、観光を目的とした来訪車両のほか、地域内に目的地を持たない通過交通による慢性的な交通渋滞が発生しており、平成 30 年に国土交通省が実施した交通調査によりますと、鎌倉地域に流入する車両のうち、約 3 割は通過交通との結果が示されていることから、この通過交通が削減されることで、鎌倉市内の交通渋滞につきましても 緩和が期待されています。

一方、地震被害や激甚化する異常気象による被害に対する支援物資等の供給道路としての役割など、当該両路線が整備されることによるストック効果の発現も期待されることから、高速横浜環状南線、横浜湘南道路の早期整備について、ご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

そして、6番の要望としましては、大規模災害時における、倒壊した電柱による緊急車両等の通行障害リスクや長期にわたる停電リスクを払拭し、強靱な幹線道路ネットワークと安全・快適に利用できる道路を形成するため、緊急輸送道路の無電柱化を推進していただきたく、財源確保と予算枠を拡大し、ご尽力を賜るようお願い申し上げ、鎌倉市の要望とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【横須賀市建設部長】ありがとうございました。続きまして、桐ヶ谷逗子市長をお願いします。

【逗子市長】逗子市長の桐ヶ谷です。

日ごろより、大変お世話になってます。この場をお借りしまして、改めてお礼申し上げます。

逗子市からは、要望事項2と3につきまして、引き続き、毎年お願いしているところですが、例年同様、お願いをさせていただきます。

要望事項2の三浦半島中央道路の整備につきましては、令和6年度に神奈川県、葉山町と共同で地元での事業説明会を実施しました。また、令和7年度は同様に都市計画変更の説明会を実施したところです。実施主体であります神奈川県の皆さまにはこの場をお借りして感謝を申し上げます。逗子市といたしましても、神奈川県・葉山町とより一体となって本事業の必要性や工事の安全性について住民に理解してもらえるよう努めてまいる所存です。

また、地元自治会からは、県道横須賀逗子線の逗子警察署入口交差点と東逗子駅入口交差点の交通渋滞の慢性化しており、要望が上がっていますので、三浦半島中央道路の整備の際には、併せて交差点の改良整備を行っていただきますことをお願い申し上げます。

次に、要望事項3についてですが、ネットワーク型 ETC の設置をいただき、ETC カードを発行するクレジットカード会社10社のうち、当初利用できるカード会社が2社でしたが、ご尽力いただき、現在は5社まで利用可能になりました。ありがとうございます。今後につきましても、更なるカード会社拡大等の利便性向上や料金引き下げとともに、逗葉新道無料化の検討を4市1町として要望いたします。逗葉新道の早期無料化については、地元からの要望とあわせまして、平成28年12月に逗子市議会から神奈川県及び神奈川県道路公社に対して、逗葉新道通行料金の無料化を求める意見書が提出されています。同意見書にもあるとおり、逗葉新道が有料であることから、利用者の多くが逗子市内の一般道を迂回路として利用しているため、市内の交通渋滞を引き起こす一因にもなっているという考え方もあります。この渋滞の解消、そして、三浦半島中央道路の整備と併せて、逗葉新道の早期無料化も重ねてお願いいたします。

最後になりますが、安全で魅力ある三浦半島の豊かな地域づくりを実現するため、幹線道路ネットワークの整備、これは大変重要なことだと思っていますので、特段のご配慮を賜りますようによりしくお願い申し上げます。逗子市からは以上です。

【横須賀市建設部長】ありがとうございました。続きまして、出口三浦市長お願いします。

【三浦市長】三浦市の出口です。日頃より、三浦市の道路行政に多大なるご支援・ご協力をいただきまして、ありがとうございます。

三浦市からは、要望事項２と３について、ご説明させていただきます。

要望事項２については、三浦縦貫道路Ⅱ期区間及び都市計画道路西海岸線についてでございます。

三浦縦貫道路Ⅱ期区間については、林インターチェンジから高円坊までの北側区間約 1.9km が令和 2 年 8 月に開通しました。残る未整備区間については、現在、供用済みの北側区間に続く三浦市道 14 号を跨ぐ箇所桥梁の詳細設計を行っていると同っております。

都市計画道路西海岸線につきましては、昨年度から事業用地の取得に着手いただきまして、今年度から用地取得した箇所から順次工事に着手すると同っておりまして、秋から工事が始まると同っております。

三浦縦貫道路と西海岸線は、２路線全線がつながることで、首都圏各都市と本市の交通アクセスを飛躍的に向上させまして、地域経済の活性化、そして、特に、やはり地震等災害時における緊急輸送道路の確保の観点からも絶大な効果をもたらすことから、一日も早い２路線全体の供用が望まれています。県の事業が円滑に進むように、三浦市としましても地元の調整など、尽力してまいりますので、今後とも引き続きご協力ご尽力のほどよろしくお願いいたします。

次に要望事項３でございます。有料道路となります三浦縦貫道路Ⅰ期区間の通行料金につきましては、供用延長約 5 km に対しまして普通車 310 円でございます。県内の他の有料道路と比べて、割高感がありまして、企業をはじめ、市民や観光客の皆様から、料金引き下げの要望が多く寄せられているところでございます。つきましては、利用者の視点に立った料金体系の見直しが必要だと考えていますので、是非、検討をお願いいたします。

また、ネットワーク型 ETC につきましても、利用可能な ETC カードが少しずつ増えているところでございますが、さらに増やしていただきますよう私からも重ねてお願い申し上げます。以上でございます。

【横須賀市建設部長】ありがとうございました。続きまして、山梨葉山町長お願いします。

【葉山町長】山梨です。引き続きよろしくお願い申し上げます。

先の皆様から、だいぶお話をさせていただきましたので、重複するところは、お話のとおりとさせていただきますが、葉山町からは、2番と3番と6番について要望を申し上げます。

初めに、直接的ではないが、先ほどの総会の中でも、国会議員の皆様もおっしゃっていましたが、災害時のネットワークの大事さとして、道路は本当に必要だと考えています。能登半島地震や熊本地震もそうですが、昨今の千葉の状況を見ても、私たちは、例えば、雪での道路啓開や放置車両の対策について学んだことはありましたが、雨であるような状況になることに関して、改めて痛感しています。もしもの時の、災害時、各市町村それぞれですが、ネットワーク道路としての道路啓開上の車両の移動の仕方であったり、私たちにできることがあるのではないかと考えていますので、この場をお借りして、そういった学びをともにできればと思っています。よろしくお願いします。

2番に関しまして、先ほど、桐ケ谷市長がおっしゃっていただいた通り、南郷トンネルの北側区間になります。今年、都市計画変更にかかっていることもきいていますが、私も以前、都市計画審議会、県から預からせていただきまして、審議会の大変さ、審議委員になりながら、重さを大変感じました。皆様のご準備も大変だと思いますし、着実に都市計画決定、変更されるように、ぜひ、よろしくお願いします。その後、まさに住民の方との折衝に入っていくと思いますが、我々も地域の自治体としてできることはしっかり尽くしていきますので、引き続き、連携した形で、特に北部区間の開通に向けて頑張っていきますので、よろしくお願いします。

続きまして、3番になります。これも桐ケ谷市長と私たちの悲願としてお話をしていまして、ETCカードの利用者数が増えていることも本当に感謝していますし、利用の方々も見てみると、カード利用の方々もだいぶ増えていることを実感しています。ぜひ、5社から、まだまだカード会社はありますので、拡大できるようによろしくお願いします。また、古い話になってしまいますけれども、かつて県議会では、県知事から北側区間の開通の折には、無料化について検討したいとお答え頂いていますので、既に見えてきました北側区間の開通を考えて、道路公社も事業計画等に、もし無料化したらという想定も今後考えていただけたらと思っています。

最後に6番です。先ほども申し上げましたが、災害時の対応が一番ですが、みなさんご存じでしょうか、鎌倉の松尾市長は、全国の無電柱化を推進する市町村長会の会長をしています。私も幹事をしていきますので、私たちの威信にかけて、無電柱化を進めていかなければいけないと思っています。これまで市街化区域、駅前周辺等が、無電柱化の中心となってきましたが、防災体制のことを考えていくと、防災の拠点となる各市区町村や防災に関係する重要な拠点は、無電柱化を推進することの重要性を皆様、ご理解いただけたと思います。葉山町も今年から無電柱化推進計画に入れていただきましたけれども、着実な推進に向けて財政負担が大きいこともわかりますが、やらなければならない使命だと思って取り組んでいきますので、引き続き、こちらの推進をよろしくお願いします。以上です。

【横須賀市建設部長】ありがとうございました。以上が本期成同盟からの要望です。

それでは、ただいまの要望について、国土交通省、神奈川県、神奈川県道路公社、東日本高速道路株式会社の皆様から、ご所見をお伺いしたいと存じます。はじめに、国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所長 西村様、よろしくお願いいたします。

【国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所長】皆様には、日頃より、道路行政、とりわけ、横浜国道の事業・管理に対しまして、ご支援、ご協力を賜っていますこと、改めて、この場をお借りして御礼申し上げます。先程の大会では、皆様方の熱い思いをしっかりと聞かせていただきました。地域の実情も聞かせ頂き、我々の事業の推進の力になったと思っています。道路管理者、また事業者として、皆様と連携しながら、ご要望頂いたことを、今一度、一步、一步、進めていきたいと思っていますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、ご要望いただいたことに対するコメントをさせていただきます。

まず、1番目の高速横浜環状南線、横浜湘南道路についてです。圏央道の整備は、首都圏全体にとって大きな効果が発揮される事業ですが、特に、三浦半島の地域におきましても、効率化、また観光面での効果の様々な期待があることを、私どもも認識しています。皆様と連携して、この地域にもたらす効果が最大化されるよう、進めていきますので、よろしくお願いします。

また、事業の進捗状況についても、NEXCO 東日本と協力して進めているところですが、横浜国道事務所では、横浜湘南道路、藤沢側のシールドマシン1号機が回転をして、今度2本目のトンネルで、下り線の本格的な掘進の準備作業を開始したところです。昨年10月にですが、藤沢インターチェンジの前に国道11号がありますが、その地下でシールドマシンが初期掘進を開始しています。数百メートル進んだところですが、まだまだ、本格的な掘進までは、もうしばらくおまちいただきますが、着実に進めています。また、小雀・藤沢地区の改良工事を行っています。高速横浜環状南線については、昨年度、今年の3月までに栄IC・JCT（仮称）の橋梁の橋脚が全て建設を終えました。現在は、橋桁を作る工事等々を進めているところです。また、国道1号との接続する戸塚インターチェンジ付近も、改良工事を進めています。施工して頂いている多くの企業の皆様と力を合わせて、1日も早い開通に向けて、安全第一で工事を進めてまいりますので、ご理解のほど、どうぞよろしくお願いします。

さて、要望の4番目の東京湾岸道路につきましては、羽田空港・京浜港・千葉港等や、大規模な災害時の防災拠点が存在する東京の湾岸部の物流・人流の効率化や防災機能の強化を目的とした道路でありまして、事業中区分については、現在、調査設計、夏島地区での改良工事、横須賀市と協力した水路の移設工事を実施しています。引き続き、地元の方々や関係機関の協力をいただきながら、調査設計、工事を進めてまいります。

さらにその南下する部分については、まだ都市計画決定されていませんが、周辺の交通状況、整

備状況等を勘案し、関係機関の皆さんと連携して進めていければと思っていますので、どうかよろしく願い申し上げます。

また、同じ追浜地区では、交通ターミナル整備事業を追浜駅前で実施しています。こちらも横須賀市が行っている追浜夏島線拡幅事業、鷹取川改修など、そちらともしっかり連携して進めてまいりたいと思っています。

また、要望事項の5番目にありました横須賀スマートインターにつきましても、国土交通省としても地区協議会を通じて、しっかりと連携していければと思っています。

要望事項の6番で、無電柱化のお話がありました。無電柱化の推進については、本年6月に策定された「第三次無電柱化推進計画」において、「防災・強靱化」、「安全・円滑」、「景観・観光」の3点を柱として、取組を進めることとされています。今後、この計画に基づき、地域の皆様や電線管理者との連携のもと、多様な手法を活用しながら着実に推進されることを期待しております。国道事務所としても、県内の取りまとめを進めてまいります。

国土交通省としては、直轄区間については引き続き事業を推進し、そのほかの区間についても皆様と協力して、支援を継続してまいります。

最後になりますが、地域の皆様の期待に応えられるよう、しっかり連携して、一つ一つの事業を着実に進めてまいりますので、今後とも、よろしくお願い申し上げます。

【横須賀市建設部長】ありがとうございました。続きまして、神奈川県県土整備局技監兼道路部長 星名様、お願いいたします。

【神奈川県県土整備局技監兼道路部長】改めまして、星名です。どうぞ、よろしくお願いします。

本日は、大変ご熱心にご要望いただきまして、ありがとうございます。また、日頃から県の道路行政に多大なるご協力いただきまして、この場をお借りしてお礼申し上げます。

私からは、県管理道路につきまして、順次、ご回答させていただきます。

まず、三浦半島中央道路です。三浦半島中央道路につきましては、北側区間と南側区間がありますが、北側区間の約1 kmのトンネル区間につきましては、かねてから、地域の皆様から事業反対の声がありました。県では、令和3年7月のオープンハウス形式での相談会を通じて、トンネル構造による「地盤沈下」など、生活環境への影響の懸念が事業反対の大きな理由であると判断したところです。このため、環境影響の評価や対応策の検討を行い、先ほどお話にありましたが、令和6年10月開催の事業説明会において、この検討結果を地域の皆様に丁寧にご説明させていただきました。

現在は、都市計画変更の手続き中であり、昨年9月に都市計画説明会、今年3月には公聴会を開催したところで、公聴会でいただいた意見については、6月に、県の考え方を回答しました。今後

も、地域の方々等のご意見をいただきながら、都市計画変更の手続きを進めてまいります。

事業の円滑な実施のためには、やはり、前段階の準備が大変重要ですので、今後も地域の皆様のご意見をいただきながら、この都市計画変更の手続きを着実に進めて、事業実施につなげていきたいと思っていますので、引き続き、ご協力よろしくお願いします。

南側区間については、これまで、湘南国際村から市道坂本芦名線までの約2.6 kmについては、橋りょうや、トンネルの設計を行ってきました。事業の着手については、この区間の坂本芦名線との交差部が、かながわ環境整備センターの上を通る計画になっているため、処分場の埋め立て完了後に、完了しても様々な制約があると聞いていますが、具体的な検討してまいりたいと考えています。

逗子市からご要望がありました逗子警察署入口交差点の交通渋滞につきましては、三浦半島中央道路の北側区間の事業と合わせて、交差点改良を実施していきますので、引き続き、ご協力をよろしくお願いします。東逗子交差点については、少し信号の現示が悪さをしているのではないかと、分析をしているので、警察とも協議はしているので、引き続き、進めてまいりたいと思っていますので、ご協力よろしくお願いします。

続きまして、三浦縦貫道路Ⅱ期についてです。三浦縦貫道路Ⅱ期の北側区間、約1.9 kmについては、3年度にオンランプが開通したことで、全ての事業が完了しました。開通区間に続く南側区間の約2.5 kmについては、起伏に富んだ地形に複数の橋梁を設置する必要がありますので、これまで、事業費や工事期間の縮減を図るとともに、周辺環境にも配慮した道路計画を精査し、昨年度、道路の高さなど基本的な諸元を取りまとめたところです。

三浦半島地域では、西海岸線や三浦半島中央道路など、大規模な事業が続く状況にありますが、そのような中でも、今年度、橋梁の設計に着手するとともに地質調査なども実施していきますので、引き続き、市のご協力をお願いします。

続いて、西海岸線についてです。西海岸線では、橋梁部が、豊かな自然が残る小網代湾を通ることから、令和6年度までに、環境や景観と調和するよう、専門家のご意見を伺いながら橋梁の設計を進めてまいりました。現在は、橋梁建設により直接影響を受ける漁業組合や、ヨット利用者など関係者と、調整を進めているところです。用地の取得については、昨年度から取得を開始し、今年度末までに約4割の取得を目指して、精力的に取り組んでいるところです。また、工事については、小網代湾の北側において、今年秋頃から擁壁工事に着手する予定です。すでに、工事の契約も終わっていますので、引き続き、地元調整等にご協力いただきますようお願いいたします。

次に、必要な財源確保と予算枠拡大についてです。神奈川県における道路整備については、かながわのみちづくり計画に基づき、選択と集中を図りながら、西海岸線や三浦半島中央道路などの災害時の代替路となる道路や、自動車専用道路のインターチェンジにアクセスする道路などの幹線道路の整備に取り組んでいます。

また、既存道路においても、緊急輸送路の確保や、歩行者の円滑な通行などに資する無電柱化を進めるとともに、通学路の安全対策など、歩行者が安全に通行できる道路環境の整備などに取り組んでいます。こうした道路整備を推進していくためには、十分な予算確保が必要であり、県としても、道路整備の効果や必要性をアピールし、公共事業の予算確保に向けて、国へ強く要望してまいります。5月13日に開催した「命と暮らしを守る道づくり全国大会」については、上地市長にご参加いただき、感謝申し上げます。引き続き、県内市町村と連携し、強く働きかけて参りますが、重要な大会と位置付けられているのは、実は秋の大会ですので、ぜひ参加を検討いただきますようよろしくお願いします。

次に、無電柱化についてです。県では、3月に神奈川県無電柱化推進計画を改定しました。緊急輸送道路である葉山小学校付近の国道134号と町道など、6市町9箇所で、県と市町が一体となって取り組む箇所として位置づけたところです。今後も引き続き、関係市町としっかり連携を図りながら、緊急輸送道路の無電柱化を着実に推進してまいります。また、鎌倉市長におかれましては、全国の会長であることは、十分承知しています。狭い道路、歩道の中でも、少しずつ新たな技術が出てきていますが、道路管理者だけでは決められることなく、利用する電線管理者の了解を得なければいけないため、新しい技術がでてきた時には、占有者と調整を行い、一步、一步進めてまいりたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いします。

最後になりますが、県としても、三浦半島地域の活性化のために、地元の皆さんと一緒に、道路の整備の推進をしっかりと行って参りたいと思っていますので、引き続き、皆様のお力添えいただきますようお願い申し上げます。以上です。

【横須賀市建設部長】ありがとうございました。続きまして、神奈川県道路公社理事長佐川様、よろしくお願いします。

【神奈川県道路公社理事長】神奈川県道路公社の佐川です。よろしくお願いします。まずは、神奈川県道路公社の2つの有料道路の運営に対しまして、日頃よりご理解とご協力を頂いていると思っています。そのことに関しまして、深く感謝と御礼を申し上げます。ありがとうございます。

当社へのご要望事項は、3点ありましたので、順次お答えさせていただきます。

まず、ネットワーク型ETCの利便性向上についてです。ネットワーク型ETCにつきましては、当公社が全国に先駆けて、有料道路での実用化に取り組んできたものです。数次にわたる社会実験、安全に運用できるのかを見極めるために、やってきました。それを踏まえて、「ETCGO」を昨年1月に三浦縦貫道路に、3月に逗葉新道に導入しました。また、真鶴道路にも導入しました。ご要望頂いている利便性向上のためには、利用可能なカードを増やすこと、これが何より重要だと思っており、順次拡大に努めているところです。具体的にはカード会社に働きかけています。また、「ETCGO」

を導入する路線が、増えることがカード会社としての採算が取れる根拠となると思いますので、それが少しでも増えるように全国の道路公社と連携して、働きかけを行っています。昨年2月に（利用可能なカード会社）は、2社でありましたが、現在は5社となっており、（全カード会社の）10社まではまだありますが、ETCGO による決済サービスも2割を超えてきたところですので、しっかり取り組んでいきます。キャッシュレス化を進める国、ネットワーク型 ETC の導入に取り組む全国の道路公社、駐車場利用の普及を進めている首都高速道路株式会社、本サービスを運用する事業者と連携しまして、利便性の向上に努めてまいります。

次に、三浦縦貫道路の料金引下げについてです。三浦縦貫道路を含む有料道路は、基本的に、道路の建設費用、維持管理費用を料金収入で賄う仕組みです。計画交通量や料金は、国との調整、国の許可を得て、定めている状況です。三浦縦貫道路につきましては、交通量が当初の計画に達していない状況で、収支は非常に厳しい状況が続いています。そうしたことから、直ちに通行料金の引き下げを行うことは難しい状況です。一方で、令和2年のⅡ期北側区間の開通以降は、三浦縦貫道路の交通量は着実に増加してきています。当公社としては今後とも、地元の市町や関係機関の皆様と連携しまして三浦半島地域の魅力の発信に取組み、三浦縦貫道路の利用促進につなげていきます。

次に、逗葉新道の無料化についてです。これは従前の答えと同じになってしまいますけれども、県は「今後、三浦半島中央道路の北側区間が開通すると、逗葉新道の役割も変わってくると想定されるため、そうした時期を目途に無料化について地元市町との調整に取り組んでいく。」としています。当公社としてもその時点で様々な観点から検討・調整していきます。私からは以上です。

【横須賀市建設部長】ありがとうございました。続きまして、東日本高速道路株式会社関東支社建設事業部長川口様、よろしくお願いいたします。

【東日本高速道路株式会社関東支社建設事業部長】日頃よりネクスコ東日本の高速道路事業にご支援、ご協力を賜りますこと、誠にありがとうございます。この場をお借りまして厚くお礼申し上げます。先ほど、各首長から切なる熱い思いを聞かせていただきました。その中で、要望事項の1と5の、横浜環状南線、横須賀PAについて、ご要望頂いています。改めまして、総会でも触れていましたが、災害に資する道路、命の道についてお話がありました。改めまして、我々が整備している事業の重要性を再認識したところです。引き続き、皆様と連携しながら頑張っていきたいと思いを熱くした次第です。

1つ目の横浜環状南線については、先ほど、ご説明がありましたとおり、国土交通省さんと連携して事業を行っているところですが、先ほどの講演で横浜工事事務所の山口から具体的な説明を少しさせていただきました。お時間の都合もありますので、私からは進捗についての説明は割愛させていただきますが、引き続き、慎重に、騒音・振動あるいは、安全・安心に留意しながら、着実に

事業を進めていきます。

また、5番目の要望事項の横須賀 PA スマートインターチェンジ整備につきましては、引き続き、横須賀市さんとしっかり連携して検討を進めていますので、今後も引き続き、連携して、事業を進めていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

いずれの事業についても、引き続き、沿線地域の安全・安心、環境、コストに配慮して工事を進めてまいります。

最後になりますが、皆様のご助力なくして事業を進めていくことはできませんので、今後とも引き続き、ご支援ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。以上です。

【横須賀市建設部長】皆様ありがとうございました。他に何かご意見等ありますでしょうか。

【三浦市長】三浦縦貫道路の通行料金について、少し発言させていただきます。これまで長年料金の引き下げについて、要望させていただいていまして、通行料等々の観点から、なかなか難しいというお話を頂いてきたのですが、令和12年に縦貫道路Ⅰ期区間の料金徴収期間が終わるということで、公社さんのホームページでも無料化をそれ以降するというご案内があることから、地元の商工会議所をはじめ、無料化への期待が高まっております。先日、県への要望においても、会頭の方からその旨の熱い要望がありました。公社さんの方で当然、経済状況等々、通行料含めて様々なご事情があるかと思いますが、地元の期待が高まっておりますので、そのあたりの方針決定等々に関しましては、緊密にコミュニケーションさせていただいて、ぜひ地元の要望に対してもご配慮いただく形で、決定いただければというふうに考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【横須賀市建設部長】ご所見があれば、お願いします。

【神奈川県道路公社理事長】ご意見いただいた件については、三浦縦貫道路、令和12年以降、どうするかについては、県と公社で協議をしているところです。ご意見も踏まえまして、検討を加速させて、しっかりと対応してまいります。

【横須賀市建設部長】本日は、本期成同盟への要望活動にご参加いただきまして誠にありがとうございました。今後三浦半島地域の広域幹線道路の整備促進につきまして、更なるご支援をくださいますようお願い申し上げます。以上をもちまして、要望活動を終了いたします。ありがとうございました。